



ぬくもりの手と手をつなぐ中丸地区

中丸地区社協だより

第7号

平成21年2月発行

発行元 中丸地区社会福祉協議会

発行元住所 〒319-1114

東海村須和間345 中丸コミュニティセンター内

電話029-287-3158

「これからの地域福祉活動を考える会」終了

去る12月10日中丸地区で東海村・東海村社会福祉協議会と共同主催で「これからの地域福祉活動を考える会」を開催し、多数の参加をいただきました。

中丸地区社協が一昨年6月に発足したことから、今回のテーマとして

- (1) 活動をしてきた中で良かったこと、足りないこと
- (2) 今後の活動に向けてやらなければならないことの2つについて、6グループに分かれて参加者全員が自分の日頃思っていることを「メモ紙」に書き出し、グループ別に発表する方法で行いました。

「メモ紙」に書かれた文面は全部で292ヶありますが、ここに一部を紹介しますと

(1) 活動して来た中で良かったこと

- ・「在宅福祉支援サークル」という母体があったので地区委員会の福祉部会に移行し地区社協につながった点は活動が途切れることなく活発に行われた。
- ・ふれあい食事会で高齢者の生き生きした顔が見られたこと。自分達も食事作りをしていてためになるんだと思うとうれしいです。
- ・研修会に参加し、先進地区の活動状況を知ることができた。
- ・地域の人達との話しあいの中でお互いに知り合いになれたのはよかった。
- ・協力員になって知らない人と知り合いになれてよかった。
- ・小地域福祉活動推進会議の実施、ふれあい協力員と民生委員とのコミュニケーションによる理解ができた。

(2) 活動して来た中で足りないこと

- ・せっかく地域の方にと行って行っているのに広報が出来てなくていつも同じ人。もっと皆んなに来てほしいと思いました。全世帯に行事近くなったら回覧したいと思います。
- ・ボランティアとしての域を超えていると思うことがある。
- ・まだ自治会の方々が無関心が目立。
- ・社協の活動が女性中心の様に思われる。もっと男性も参加させることが重要です。
- ・会議に自治会長さんの出席がないのはおかしいと思う。

(3) 今後の活動に向けてやらなければならないこと

- ・地区班長さん(常会長さん)もこのふれ合いの内容を知って、見守りをしてくれると共に良いかと思う。
- ・後継者作りをしたいがなかなかむずかしいので気軽に参加出来る様に負担が余りかからない事業活動したい。
- ・福祉活動の楽しさを会員(ふれあい協力員)自身が地域の方にPRして楽しいふんいきをつたえる。
- ・ふれあい食事会実施に伴う、材料購入、献立の計画について(村の職員/社協)で出来ないか。



- ・ボランティアの経費の負担を軽くする。
- ・ふれあい食事会に介護福祉課の職員の姿が見えない。現状実態を把握の上、今後の活動に生かして欲しい。
- ・地区社協として、自治会との連携をどう進めるべきか、地区社協単独のみでなく、村社会福祉課、村介護福祉課、村保健年金課、村自治推進課との話し合い調整。
- ・ふれあい協力員を増やすこともなかなか大変です。若い人で協力員になってくれる人を集める工夫呼びかけ努力も大切です。
- ・ふれあい協力員ばかりでなく、地域ぐるみで見守りするためには自治会長の協力がなくては出来ないと思う。
- ・活動の輪をひろげる。若い人や子供にも声をかけて協力を得ることが出来ると良い。
- ・今の地域福祉は福祉イコール高齢福祉になっているように思われる。本来の地域福祉とは弱い立場の方たちをどの様に支援していくかが課題と思います。
- ・介護の問題に対する危機意識。自分が、妻・夫が倒れたらどうなるか、大変な事態になる！現今の医療・介護の能力不足を見れば明らかであります。
- ・介護予防についての施策は更に充実して頂きたい。ややもすると介護を要するに至った者を対象にウェットがある。予防の具体策を地域で取り組んで頂きたい。

全文をご覧になりたい方は事務局（TEL 287-3158 担当 石井）までご連絡下さい。

グループだより……ふれあいグループ

ふれあいグループは現在10名で構成され、今年度新たにスタートした地区社協事業について具体的な検討を行っています。1歳未満の乳幼児を対象にした「ベビーマッサージ&英語ベビーサイン体験教室」を3月に予定しており、今後、年に数回程度定期的な開催の予定です。



また、中丸地区内には高齢の方や子供達、障がいをお持ちの方、いろいろな方が暮らしています。すべての方を対象とした事業展開を目指し、ふれあいグループから計画を出して行きたいと思っております。（ふれあいグループ長 篠崎信一記）

ふれあい協力員だより……緑ヶ丘区ふれあい協力員サークル



緑ヶ丘区ふれあい協力員サークルでは、毎月第2月曜日にいきいきサロンを開催しています。

12月のサロンでは、クリスマスをテーマに“マジックショー”や“クイズで当てましょう”を織りこみ、笑顔いっぱいの楽しいひとときとなりました。

このような小さなふれあいを通して、人々の輪が広がり、顔みしりがいる安心と地域の支え合いにつながることがめざしています。

2月には世代間交流事業として、ものづくり教室を開催します。また、3月のサロンでは、ひなまつりスペシャルを予定しております。たくさんの参加をお待ちしています。

（緑ヶ丘区ふれあい協力員リーダー 佐藤幸好記）